パブリックコメントの実施結果について

１　パブリックコメントの実施結果について

⑴　実施した政策等　養老線交通圏地域公共交通計画（素案）

⑵　実施期間　令和8年6月26日（金）～ 7月25日（土）

⑶　実施方法　「桑名市パブリックコメント手続要綱」によるもの

⑷　意見提出者数　5人

⑸　意見提出件数　7件

２　養老線交通圏地域公共交通計画(素案)に係る意見の概要等について

No.	意見の概要	市町の考え方（対応）
1	桑名～美濃松山間は朝夕の増便を行い、それより北の区間は減便したらどうか。	P.43「施策Ⅰ-1 運行サービスの改善、高度化」において、実施予定事業として、「① ダイヤの改善」を掲げています。 計画素案に例示している増便案は、将来的な需要創出や利便性向上の一つであり、現行の施設や設備等を考慮し、実際に導入する際には、単線区間でのすれ違い、運転士等の交代時間等を、事業者と検討してまいります。
2	今後も運休にならないよう路線維持をさらに強化してほしい。	毎年度の設備計画に基づき計画的に交換及び維持管理を進めてまいります。
3	交通系電子マネーに対応した改札機を導入すれば増客効果があると思います。	P.45「施策Ⅰ-3 DXの推進による利便性の向上」において、実施予定事業として、「① 交通系ICカード等の導入」を掲げています。 事業者と連携し、交通系ICカード等の導入を検討し、利便性向上を図ってまいります。

4	パークアンドライドで使用しますが、多度駅の400円は高いイメージです。近鉄弥冨駅まで車で行った方が駐車料金を含めやすくなってしまいます。	P.48「施策Ⅱ-3 駅周辺におけるにぎわいの創出」、P.53「施策Ⅲ-4 交通結節点の機能強化」において、実施予定事業として、「① 駅周辺の施設整備」、「① パークアンドライド用駐車場等の整備」を掲げています。 各駅周辺の土地活用及び情報発信方法については、沿線市町等による駐輪場や駐車場、自習室の整備、季節感を演出したイベント等、地域ニーズに応じた活用の検討を進めてまいります。
5	インスタなどに観光地の宣伝をすれば、外国の方など増客効果があると思います。	P.54「施策Ⅳ-1 観光資源等との共創による養老線の活用」において、実施予定事業として、「① 観光資源を活用した周遊イベントの実施」、「② 企画列車の運行・記念切符の販売」、「③ 新たな観光ニーズの掘り起こし（インバウンド対応等)」を掲げています。 今後、リニア中央新幹線の開業も見据えながら、外国人観光客やリニア利用者など、これまで鉄道を利用する機会の少なかった方々も含め、新たな利用者の確保に取り組んでまいります。 いただいたご提案も踏まえ、P.54「施策Ⅳ-1 観光資源等との共創による養老線の活用」の実施予定事業を「③ 新たな観光ニーズの掘り起こし（インバウンド対応・リニア中央新幹線開業による誘客効果の検討等)」に変更し、沿線市町の観光イベントとの連動（広報活動を含む）を図りつつ、事業者や観光協会・商工会など多様な関係者と連携し、定期外利用者を増やすイベント等の具現化に向けて取り組んでまいります。

6	新たな利用者確保の課題として、学生・大規模事業所従業員・高齢者・外国人が挙げられていますが、15～64歳のうち、学生や大規模事業所従業員以外の層への対策はどうなっているのでしょうか。 計画全体は設備投資によるサービス力・利便性の向上を通じて利用者増を目指す方針と見受けられますが、令和6年度において15～64歳の人口が全年齢の58.7%を占めていることから、こうしたボリューム層の利用に対する対策も重要と考えます。	P.48「施策Ⅱ-3 駅周辺におけるにぎわいの創出」において、実施予定事業として「② 主要駅周辺でのイベント開催」を、P.53「施策Ⅲ-4 交通結節点の機能強化」を、P.54「施策Ⅳ-1 観光資源等との共創による養老線の活用」において、実施予定事業として、「① 観光資源を活用した周遊イベントの実施」掲げています。 主要駅周辺でのイベント開催や交通結節点の強化により目的地までのアクセス向上を図るとともに、沿線の観光資源を活用した周遊イベントを実施することで、これまで鉄道を利用する機会の少なかった方々を含め、新たな利用者の確保に取り組んでまいります。
7	計画の中で、免許自主返納件数が整理されていることを踏まえ、免許返納者や高齢者に対する割引や定期券、回数券を発行するなど検討すべきではないか。	高齢化が進む中、運転免許を自主返納された方や高齢者の移動手段の確保は重要であると認識しております。 公共交通の利用促進や高齢者の外出支援に向けた割引策、定期券・回数券のあり方等を検討してまいります。